

# 東大野球部

New! メールマガジン



じゅあいらび

立春が過ぎ、日中は少し暖かさが感じられるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では、部員の多くがテストを終えて春休みに入り、より野球に集中できる環境となりました。また、先日は桑田真澄氏が東大野球部の特別コーチに就任し、部員は多くのことを吸収しながら、今まで以上に充実した練習をしております。

今後とも東大野球部を、どうぞよろしくお願い致します。

## 今後の予定

2月25日〜 福岡合宿



## 受験生特集

今回は今月25日・26日に迫る東京大学の二次試験を前に、自分の受験体験や部活との両立法について対談をしてみました！

メンバーは松田翔外野手(2年・湘南高・理科1類・現役)、北村康捕手(2年・筑波大附属駒場高・文科3類・1浪)、下嶋浩平内野手(1年・仙台一高・理科1類・1浪)、高木一史外野手(1年・土佐高・文科3類・現役)の4選手です。

**「まず、いつ東大志望を決めたか、そしてなぜ東大にしたか教えてください。」**

松田「高校入る時から決めてた。なんでっていうのは…高校入る時に高校生活のテーマを勉強って決めてて。」

北村「すごいな…(笑)」

松「(笑)だから最初から東大一本でがり勉になろうってつもりで高校入った。」

北「自分の高校は東大行く人が多いからなんとなく東大っていうのがあって。本格的に東大にしようかなって思ったのは高2くらいかな。東大にした理由は…周りが目指していたからっていうのが大きいかな。」

下嶋「僕は…行きたいと思ったのは高1の頃です。きっかけは、自分の叔父が野球部のOBで、カッコいいなと思って目指しました。」

高木「東大を本格的に目指そうと思ったのは…浜田監督がスカウトをしていた時に(土佐高が監督の)

母校なので講演に来てくださって。そこで野球部で東大目指したいとなんとなく思ったら本気で教えてください。それで頑張るか、となりました。」

**「東大に入ったら野球部に入ることは最初から決めていましたか？」**

松「んー入学直前くらいまでは硬式で本気でやりたいては決めてなかったけど、ニューズで東大の硬式野球部のことがやってくるのをたまたま見て。それに岩崎さん(2011年度主将)とか谷沢コーチが出て、それで硬式野球部に興味を持った。あと、合格発表で自分の番号見た瞬間になんか硬式野球部入るって決めた。…アツイ気持ち湧いてきた。」

北「アツいな。俺は…現役の時に入ろうとは思ってなくて。でも浪人中に勉強のモチベーションが欲しかったし、高校の先輩の香取さんがリーグ戦で投げた活躍してるのを見て、せっかく1年浪人して(東大に)入るんだったら難しいかもしれないけどやろうかなと。浪人中はずっと野球部入ろうと思って勉強してました。」

下「東大を目指した理由なので入ることは初めから決めてました。」

高「僕も初めから決めてました。」

**「高校時代は塾に通ってましたか？」**

松「高1の最初の春期講習から通ってた。」

北「高1の冬ぐらいから通ってた。」

下「通ってなかったです。浪人中は予備校に行っていました。」

高「通ってなかったです。学校だけです。」

一部活の面立法や勉強法はあつちかか？

松「早目から意識を高く持って勉強することかな。あとは部活やってる以上勉強する時間が限られてくるから、30分の電車の中で単語を200個見るとか短い時間で密度を濃くして有効に使う。」

北「両立法は現役の人に任せます(笑)浪人中の勉強はとにかく復習かな。予備校の授業に全部必ず出て、復習をかなり丁寧にやって、っていうのをやって、それが一番よかった。」

下「高校の時は、練習時間が長くてあんまり勉強できてなかったのですが、(定期テスト前の)テスト休みはあったんで、そこでしっかり勉強して定期テストはちゃんと取れるようにしてました。」

高「僕は野球部の寮だったんですけど、勉強できないんですよ。素振りしたりとか、友達が遊びに誘ってきたりして。だから授業をちゃんと聞いて、夜は勉強しないって決めて、メリハリ付けてやってました。野球をちゃんとやって後悔がなく引退してから勉強に集中できました。」

現役生は直前に伸びるという言いますが…

松「俺は高1高2と成績が悪くはなかったから最後の追い上げという感じで勉強したわけではないと思ってる。」

高「僕はセンター試験の前日に予想問題を解いたら(得点率が)6割9分とかで。やばいなと思って。」  
北「まじか(笑)」

高「だから足切り(センター試験の点数で決まる東大の第一段階選抜)さえかかんければいいと思ってセンター受けに行つて、終わって自己採点したらめっちゃ合つて(笑)8割5分くらい取れて。もう過去最高で。二次試験までつきつきで過こして。二次試験が勝負だつて高校の先生によく言われてたので二次はかすれ!と思って勉強したら、(合格最低点から)0.6点差でかすりました(笑)」  
一同「かすつたな(笑)」

←高木外野手



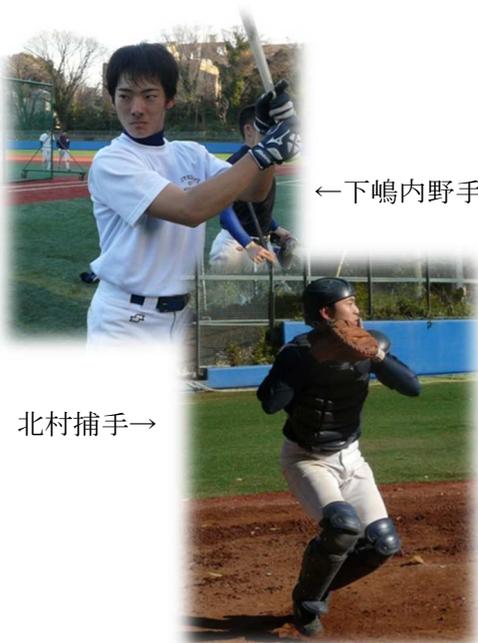
松田外野手→

浪人の2人は浪人することはすぐに決めましたか？

北「決めました。他大学を受けてなかったんで(笑)」  
下「僕もです。もう一回落ちて、浪人するつもりでした。」

北「二浪?」  
下「はい。」  
北「へえ…二浪は…あんまり考えてなかったな…」

←下嶋内野手



北村捕手→

現役の2人は落ちたら浪人しようと思ってましたか？

松「二応早受けたけど浪人するつもりだった。」  
高「東大以外も受けたんですけどその大学は受からないなって思つてました…けど浪人することあんまり考えてなかったです。(東大に)絶対受かったと思つてました。」

松「それはすごい自信だな…」  
北「0.6点差だったな笑」  
一同「笑」

高「根拠のない自信が(笑)」

東大野球部にいる現役の人と浪人の人になにか違いは感じますか？

高「浪人してる人の方が…もちろん例外もいるんですけど、人間的に成長してるかな。僕と長藤(1年・捕手・二浪)とか比べたらもう全然違うんで。」  
北「確かに(笑)」

高「だから浪人するのも悪いことじゃないなと思いました。」

松「浪人生が口をそろえて言うのは入って最初のラ  
ンメニューで全然体力足りないって。」

北「あー…確かにそれはあると思う。現役生と浪人  
生は丸1年違って浪人したらその分プランクがある  
からね。もし東大来て野球やるってことを考えるな  
ら確かにそれはちょっとハンデになるかもしれない  
けど、それでも半年もすれば変わんないよ。」

―最後に受験生にメッセージをお願いします。

松「やっぱり部活やってる間はとりあえず部活を全  
力でやった方が良くと思う。だから、限られた時間  
を無駄にしないで、その時間をちゃんと点に結びつ  
けるような勉強をしてほしいな。受かるためにはね。  
でも、とりあえず第一優先は部活で日々を過ごして  
ほしい。」

北「俺は浪人生に向かって言うと。浪人の1年って  
今思うと全然無駄じゃない。現役に比べて1年遅れ  
をとってるなんて後から見れば全然関係ないし。俺  
は浪人してよかったなって思ってる。だから浪人し  
たとしてもそんなに後ろ向きにならずに、頑張って  
勉強してそして大学生活を楽しんでほしいと思いま  
す。」

下「自分の話になるんですけど、やりたいことがあ  
ってそこに行きたいなと思ってやるのは大事になっ  
て感じます。自分もともとそんなに頭は良くなり  
て、高校の先生にも東大合格は厳しいみたいなの  
を結構言われて。それでも僕は東大で野球がやり

たいという気持ちだけを勉強のモチベーションにし  
て、頑張ってやりきることができたので、やりたい  
ことを明確に持つてるといいのかな、と思います。」  
高「がんばったら今の成績とか関係なく、(東大合格  
は)絶対不可能じゃないはず。僕が受かってる  
んで(笑)僕最初の東大模試で順位見たら自分より下  
に27人しかいなかったんです。秋の模試でも(下  
には)80人しかいなくて。でも最後までやったら  
かするかもしれないんで、諦めないのが一番大事か  
な、と思います。」

―ありがとうございました！



(左から) 松田、北村、下嶋、高木



## 編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。やはり部  
活をやっていると受験勉強は大変ですが、それでも  
部活には本気で打ち込んでほしいという思いがある  
ようです。受験生の皆さん、頑張った分だけ結果は  
必ずついてきます。あと少し、最後まで諦めずに全  
力を尽くして頑張ってください。東大野球部では今  
月末から合宿を控えておりますが、3月10日の東  
大合格発表にはかけつける予定です。皆さんの入部  
を心待ちにしています。

また、合宿後は東大球場でもオープン戦を数多く  
予定しております。皆様ぜひ、東大球場に足をお運  
びください。

今後とも温かいご声援をよろしくお願い致します。

## お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望が  
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

